

2021 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
芸術学部芸術学科 領域 コース

選抜「学校推薦型選抜 一般推薦入学試験 期」

試験科目：「 文章表現テスト 」

日 程：2020 年 11 月 21 日 (土)

試験時間： 時 分 ～ 時 分 (時間)

配付されるもの：

問題用紙 1 枚、「ペンフレンド」引用文、四百字詰め原稿用紙 7 枚、A4 サイズ下書き用紙 3 枚

【問題】

井上ひさし『十二人の手紙』(1980 年)は、手紙の文面だけで進行していく短編集である。
その中から「ペンフレンド」を挙げる。

北海道旅行の案内役で、文通相手を雑誌で募った女性が、応募されてきた多くの手紙の山から、
偶然落ちた一通より相手の男性を選んだというところから、終わりまでを引用する。
これを読み(中略箇所を複数挟む)、以下の問いに回答しなさい。

【条件】

- ① 手紙のスタイルのみで構成される物語を創作せよ。
作品の文字数は 800～2000 字とする。
- ② 登場人物、舞台設定などは自由とする。

作品「ペンフレンド」後半より

*

お手紙ありがとうございます。八三通もペンフレンドの申し込みがあったなんてすごいですね。そしてその八三人のなかから、ぼくがあなたの相手に選ばれたとは、なんとこの幸運でしょう。ぼくは、ぼくの手紙をあなたの机の下に落してくれた神さまに感謝しなければなりません。

(中略)

それからの予定は別紙に書いておきました。参考までに眺めておいてください。もし、ここをこう変えたいというご希望がありましたら、遠慮なくお申し付けください。では、お逢いする日をたのしみに。

六月五日

酒井健一郎

本宮弘子様

*

北海道旅行の予定表ありがとうございます。部屋の壁に貼って、毎日、眺めることにします。今日は本屋に寄って北海道の案内書や歴史の本を五冊も買ってきました。出発まで北海道のことをうんと勉強しようと思っています。

ところでこのあいだ、あなたに教わったことを実行してみました。向いの席の、あの無口男を食事に誘ったんです。あ、そうそ、あなたにまだ無口男の名前を言ってませんでしたね。西村光隆、これが無口男の名前です。(中略)

さて、予定表といっしょに送られてきたあなたの写真をいま見えています。正直いって、あなたがこんなにいい顔しているとはおもってもいなかった。まだ一言も口をきいていないのに、なんだかあなたがお兄さんのような……、そんな気がしてきました。わたしも写真をお送りします。がっかりしないでください。

六月十日

本宮弘子

酒井健一郎様

*

写真をどうもありがとうございます。あなたはぼくが思っていたとおりの女（ひと）だった。手紙で感じていた堅実さがちゃんと顔にあらわれています。それに目がすてきです。きつと神さまに造形主はあなたの目を造ることに全力を注がれたにちがいありません。

（中略）

無口男を食事にさそわれたとのこと、まあぼくの助言が役に立ってよかった。ぼくの経験によれば、女の前ですぐにペラペラしゃべり立てるようなやつは、あまり信用できない。たいていの男は、とくに二十代の前半では、女性と正対すると少々は口ごもるものです、ということは無口男もまっとうな男、いや、彼のことはもう聞くのもいやです。そうぼくはその男にいまやはつきりと嫉妬を感じる。話題を変えましょう。

（中略）

ああ、あと四十日、その四十日がはやくたちますように。

六月二十五日 酒井健一郎

本宮弘子様

*

さっそくですけど、今日は不愉快なことを書かなくてはなりません、どうか腹を立てないでおしまいで読んでください。今日、無口男の西村さんに誘われてお茶を飲みに行きました。そのとき、西村さんが、

「いまつきあっている男性はいるのですか」

とおずおずわたしにたずねました。そこでわたしが、「北海道網走市のとある役所に勤めている男性と文通しているわよウンヌン」

とあなたのことをはなしてあげると、彼はしばらく考えてから、突然、こんなことを言い出したんです。

「その酒井健一郎って男はひょっとしたら網走刑務所の受刑者かもしれない」

あんまりおどろいたものだから、ただぼかんと西村さんの顔を眺めていました。彼はつづけてこう言いました。

（中略）

とにかく西村さんの推理がウソであることを祈っています。

六月三十日

本宮弘子

酒井健一郎様

追伸。あなたの役所と下宿先の電話番号を教えてください。あなたのお声が聞きたいから……。

*

あなたの向いの席の西村って男、けっこう冴えてるね。なにもかもお見通し、おそれ入ったよ。たしかにおれは西村の言うとおりの男で、やつと言うとおりのことを計画してたのさ。ふん、それにしても「あなたの役所と下宿先の電話番号を教えてください。あなたのお声が聞きたいから……。」とはみえすいている。番号を聞いたら、おれがしゃばにいかどうか、実際にかけてたしかめるつもりだったんだろうが、そうはいかない。ここらで撤退することに決めた。さよなら。

七月十五日

網走にて 健一郎

本宮弘子様

*

幸ちゃん。いま函館のユースホテルに辿りついて、いよいよ北海道の最初の夜を迎えるところです。でも誤解しないで、彼とはむろん別々の部屋で寝るのだから。ところで幸ちゃんには、酒井健一郎氏の悪企みを西村さんはずばりと見抜いたこと、そして西村さんが酒井氏のかわりに北海道を案内してくれることになったこと、というのは西村氏の出身が北海道の北見市で彼もまたこの土地にはくわしいこと……、全部はなしたわよね。

ああ、でもわたしすこしうかつだった。西村さんが北見市の出身だときいたとき、このからくりを見抜くべきだった。それなのに、西村さんの手帳をみるまで、わたし、まったくにも気付かなかったのだから、いいかげんばかだったわ。

(中略)

でも、幸ちゃん、わたし、一生、酒井健一郎氏が西村さんであるってことに気づかないふりをしているつもりよ。西村さんに気まずい思いをさせるのはいやだし、それにわたしも、社長の姪だとかいろいろ嘘をついているし、ここは知らん

ぶりがいちばんでしょう？ ではまた。

八月四日夜 函館にて 本宮弘子

小林幸子様

*